

第2回スヌーズレン教育研究会 アンケート結果

(平成30年2月24日(土) 場所:静岡市特別支援教育センター)

ご感想・ご意見

- ・スヌーズレンのいろいろな実践例を紹介していただき、今後の研究・実践の参考になりました。どうもありがとうございました。
- ・通常学校での活用ということで、具体的な事例を見せていただき大変勉強になりました。(3名)
- ・鈴木さんのまとめはわかりやすかったです。
- ・スヌーズレンについて、浅くではあるが、広く概要をつかむことができた。とても奥深い手法だと思いました。
- ・施設内で、今できることのきっかけとして勉強になりました。今後、卒業後のスヌーズレン教育の広がり、医療や福祉への広がりを望みます。
- ・スヌーズレンが障害のある子どもたちにとって、実際にどのように効果があるのかを聞くことができ勉強になりました。
- ・また参加したいと思います。(5名)
- ・スヌーズレンを取り入れることで、良い効果のあったお子さんたちの話が聞けて本当に勉強になりました。
- ・基調講演では、スヌーズレンの基礎的なことを学ぶことができたので、良かったです。
- ・スヌーズレンの導入前後で、気持ちの変化が見られ、良い変化が見られることが分かりました。また、効果の持続性もあると感じたので、通常学級籍の子の支援方法の一つとして、もっと広がるといいな、ということを感じました。
- ・支援学級に入ることで、心が開放し多弁になる子、学習に集中できるようになる子が多い。それをスヌーズレンでの環境を使って、介助者に対して心を開き、心の声を発し、落ち着いてその後の指導や学習に集中できる。そして学習の場は変更しなくて(通常級のまゝ)済む。とても興味深い研究です。より教育効果のある実践を今後も期待しております。ありがとうございました。
- ・発達系のお子さんたちは不登校になりやすい傾向にありますが、スヌーズレンを取り入れることで、登校につながる可能性があるお子さんもいるのではないかと思います。
- ・とてもわかりやすかったです。このタイプの講演を教育センターで続けていけると、普及が早くなるのではと思いました。

今後の要望

- ・体験型のワークショップ。

- ・高齢者向けのスヌーズレンの実践を紹介して頂けるような研修会があったら良いなと思っています。
- ・できれば、事業所でスヌーズレンの実践をしていただきたいです。
- ・こういう学校であれば、こういう使用の仕方があるなど、一つ一つ利用方法を構築していく必要があるのではと思います。
- ・特にスヌーズレンの場合、人としての尊厳をどなたであっても享受していただき、併せて主体的な活動を引出すという、とてもすばらしい理念から生まれたものであることが理解できました。このあたりの経緯も、ぜひ一般の教諭向けの講演の際には訴えてほしいです。
- ・スヌーズレンが効果をもたらす・・・というそのメカニズムがまだまだ疑問です。リラクゼーションなのか?注意の定位なのか? 覚醒水準の問題なのか?
- ・効果として、興奮を収める⇔気持ちを高揚させる、といった相反する効果が与えられるメカニズムについて知りたいです。覚醒水準の最適化が起こる?五感からの刺激と上記の関係性についてわかっていることを教えて頂きたいです。

付 記

皆様、多数のご参加、誠にありがとうございました。今回の第2回スヌーズレン教育研究会は、前回と同様、主に姉崎の基調講演と学生の実践研究の発表の場として設定したため、2時間程度の比較的短時間のものになり、理論的な内容まで踏み込んで、十分にお話をする時間がございませんでした。今後、スヌーズレンの理論を学びたい方は、現在研究途上ですが、ぜひスヌーズレン研修会や日本特殊教育学会等でのスヌーズレンシンポジウムへのご参加をお勧めいたします。

(文責:姉崎 弘)